

サーバストレージ

1. 概要

サーバストレージは各個人の V-Campus のホームディレクトリ・Web サーバのコンテンツ領域等のファイルデータの保存先から、V-Campus で使用している様々な仮想サーバ（SPIRIT、授業支援システム等）の OS データ、システムデータの保存先、及び仮想サーバが動作するハイパーバイザーを有するシステムである。

2. 利用状況

(1). 2021 年度末のストレージの利用状況

- ① NAS 領域の使用量 : 約 35 TB
- ② 仮想サーバ領域の使用量 : 約 47 TB
- ③ QNAP 上のデータ使用量 : 約 51 TB

(2). 2021 年度末のサーバ利用状況

- ① 仮想サーバ数 : 328 台（内稼働 284 台）

3. 2021 年度のまとめ

2021 年度は既存サーバや新設サーバでも 1 TB 以上のディスクリソースが求められる状況となった。そのため大幅にストレージリソースが消費され、V-Campus7th で導入した構成ではストレージリソース不足となり、PureStorage の重複排除でも対処しきれなくなったため、慢性的なディスク容量不足に陥った。また増加し続けた仮想マシン群によりバックアップについても日々の取得が追い付かない状況となった。

そのため PureStorage については容量の増、バックアップの Cohesity については 6 基から 8 基に増設を実施した。

仮想サーバの台数については V-Campus6th で使用していたサーバや、停止した古いサーバ群を整理したこともあり、仮想サーバの総数は前年度より減っているが、稼働サーバは増加している。

NAS 使用量についてもリモート授業の需要が前年度同様に求められ立教時間や Blackboard サーバのデータが前年度同様に増大し続けている。Blackboard・立教時間共にデータ領域の拡張を行ったが、今後増え続けることが課題とされ、アクセスが少ない過年度分のデータについて、QNAP に追加の領域を用意しアーカイブ用として利用することとした。

また DMS や事務系システムの仮想サーバや図書館の資料公開サーバなどで、1 TB 以上のディスクリソースが求められるシステムが増加してきている。